

## 神戸市とイオン株式会社の「包括連携協定」締結について

本日、神戸市（市長：久元喜造）とイオン株式会社（代表執行役社長：岡田元也／以下「イオン」）は、地域の一層の活性化及び市民サービスの向上を図るため、「包括連携協定」を締結しました。

本協定に基づき、神戸市とイオンは、「地域の安全・安心」、「地産地消・農商工連携の推進、産品オリジナル商品の開発と販売」、「観光情報・振興」、「ICカード等の活用」に関する事など、計12項目においてより緊密な連携を図ってまいります。

本協定の取り組みの第一弾として、イオンは協定締結に先行し6月30日（金）よりご当地WAONカード「KOBE WAON」を発行しました。カードの表面には、夜になると錨や神戸市章の電飾の灯りがともり、神戸のシンボルにもなっている「市章山」や「錨山」、神戸のランドマーク「神戸ポートタワー」をはじめ、シンボリックで斬新なデザインの建築物が建ち並ぶ「メリケンパーク」などの名所を配しています。

ご当地WAONは、イオンの電子マネー「WAON」の一種で、地域社会に貢献するという企業理念に基づき、2009年に発行を開始したものです。

「KOBE WAON」を全国約35万箇所のWAON加盟店でご利用いただくと、そのお支払い金額の一部をイオンが神戸市に寄付し、神戸市の経済活性化にお役立ていただきます。

本協定を機に、神戸市とイオンはこれまで以上に連携し、地域の活性化や市民の皆さまへの新しいサービスの創出に連携して取り組んでまいります。

### 【「包括連携協定」の概要】

- (1) 地域の安全・安心に関する事
- (2) 地産地消・農商工連携の推進、  
産品オリジナル商品の開発と販売に関する事
- (3) 観光情報・振興に関する事
- (4) 子供・青少年育成に関する事
- (5) 健康増進・食育に関する事
- (6) 高齢者・障害者に関する事
- (7) 環境対策・リサイクルに関する事
- (8) 文化芸術事業振興に関する事
- (9) ICカード等の活用に関する事
- (10) 都心・三宮の再開発等、都心部のにぎわいづくり推進
- (11) 市街地西部等、店舗周辺地区の活性化に関する事
- (12) 市民サービス向上や地域活性化に関する事

以上

## <ご参考>

### 【「KOBE WAON」の概要】

- ・販売開始：2017年6月30日（金）
- ・販売場所：神戸市内の総合スーパー「イオン」、全国の「ダイエー」「グルメシティ」、西日本を中心とした「マックスバリュ」、「KOHYO」等、約140店舗にて先行販売しており、順次全国のイオン店舗で販売いたします。
- ・販売目標：3万枚
- ・発行手数料：1枚300円（税込み）
- ・チャージ可能金額：上限5万円（1回あたりのチャージ金額の上限は2万9,000円）
- ・ポイント特典：ご利用金額200円（税込）ごとに1WAONポイントが貯まります。WAONポイントをWAON（電子マネー）に交換すると、1ポイント＝1円相当で使うことができます。
- ・寄付について：「KOBE WAON」ご利用金額の一部をイオンより神戸市に寄付し、「神戸市の経済活性化」にお役立ていただきます。

#### ・カード券面

おもて



うら



### 【WAONの概要】

- ・累計発行枚数：約6,690万枚（2017年8月末現在）
- ・利用可能箇所：約35万5,000箇所（2017年8月末現在）  
※うち自動販売機・宅配便ドライバー端末 約20万9,000箇所